

# 衆議院財務金融委員会ニュース

平成 20.6.3 第 169 回国会第 21 号

6月3日、第21回の委員会が開かれました。

- 1 金融に関する件（破綻金融機関の処理のために講じた措置の内容等に関する報告（平成 19 年 12 月報告））
- ・ 渡辺国務大臣（金融担当大臣）から説明を聴取しました。
  - ・ 渡辺国務大臣（金融担当大臣）、山本内閣府副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
- （参考人）預金保険機構理事長 永田俊一君

（質疑者及び主な質疑内容）

## 越智隆雄君（自民）

- ・ 足利銀行破綻処理の成果及びこれに対する金融担当大臣の評価について伺いたい。
- ・ 野村フィナンシャル・パートナーズ及びネクスト・キャピタル・パートナーズ連合が足利銀行の受皿に選定された経緯及びその理由について伺いたい。
- ・ これまでの公的資金による資本増強の実績及び返済状況について伺いたい。

## 佐々木 憲 昭君（共産）

- ・ 預金保険機構が3月21日の運営委員会で保険料変更を決定した理由について伺いたい。
- ・ 郵貯銀行が預金保険機構の責任準備金を負担することの是非について伺いたい。
- ・ 政府保有の新生銀行株の今後の扱いについて伺いたい。

## 前田雄吉君（民主）

- ・ 整理回収機構（RCC）社長の国会出席に関して預金保険機構理事長はどのように考えるか。

- ・ 個別事案とRCC社長との利益相反について預金保険機構は調査を行っているのか。
- ・ 預金保険機構に立入調査権が付与されているのはどのような理由によるのか。
- ・ 預金保険機構の立入調査権の行使については、第三者によるチェックを行うべきではないか。

## 階 猛君（民主）

- ・ 金融システム安定化のための公的資金投入は、大蔵省の失政の結果であり、同省による銀行救済であるとの指摘もあるが、預金保険機構理事長はどのように評価しているか。
- ・ 金融システム安定化に使用した公的資金の管理・回収・処分は、国民負担最小化の観点から適切に行われているか。
- ・ RCCの住専勘定の二次損失の状況と、新たに生じる可能性のある国民負担額の見通しを伺いたい。